

福島銀行 2017

ディスクロージャー誌 [情報編]
FUKUSHIMA BANK DISCLOSURE



ウォーム・マネー

WARM の MONEY

福島銀行



福島銀行

ディスクロージャー誌(情報編)

2017

FUKUSHIMA BANK
DISCLOSURE

CONTENTS

● ごあいさつ	1	● その他の取組み	7
● ふくぎん本気(マジ)宣言II	2	● 社会貢献への積極的貢献	8
● 富岡支店 6年ぶりに再開!	3	● 決算ハイライト	12
● 法人・事業主のお客様への取組み	4	● 営業店一覧	16
● 個人のお客様への取組み	6	● トピックス	17

[会社概要]

名 称 株式会社 福島銀行
 本店所在地 福島市万世町2番5号
 電話番号 024-525-2525(代表)
 設 立 大正11年11月27日
 資 本 金 181億円
 従 業 員 数 527名
 店 舗 数 57店舗
 預 金 7,131億円
 (譲渡性預金含む)
 貸 出 金 5,050億円
 預 かり 資 産 863億円
 自己資本比率 単体10.82%
 連結11.17%
 (バーゼル3 国内基準)
 開示債権比率 1.68%

平成29年3月31日現在

[役 員]

代表取締役社長 森川 英治
 代表取締役常務 久能 敏光
 取 締 役 佐藤 明則
 取 締 役 高野 俊哉
 取 締 役 筋内 貴志
 社 外 取 締 役 瀬瀬 晃
 社 外 取 締 役 川手 晃
 社 外 取 締 役 二瓶由美子
 執 行 役 員 横山 利幸
 執 行 役 員 佐藤 俊彦
 執 行 役 員 渡辺 敦雄
 常 勤 監 査 役 吉田 直人
 常 勤 監 査 役 稲村 修
 社 外 監 査 役 新開 文雄
 社 外 監 査 役 清水 修二

平成29年6月23日現在



なんでも解決隊 宣言!!
お取引のない方も大歓迎!!

地域のみならずさまざまなお悩みを承ります。

お困りごとの解決に向けて全力で取り組みます!!

福島銀行 富岡支店



ごあいさつ

株式会社福島銀行
取締役社長

森川 英治



皆様には平素より福島銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

平成29年3月期決算の概要や中期経営計画に則った取組みをディスクロージャー誌(情報編)に取りまとめましたので、ご一読くだされば幸いです。

当行の主たる経営基盤である福島県の経済は、復興関連需要を背景に、良好な雇用環境から緩やかな回復基調が続きました。一方で、英国のEU離脱や米国の大統領選挙などにより金融市場は大きく変動しました。このような中で、平成29年3月期決算は、貸出金利息や有価証券利息配当金、株式売却益の減少などから経常収益が前年度比32億円の減収となり、経常利益は14億円の同15億円減、当期純利益も10億円の同12億円減となりました。

こうした中で、当行では平成27年4月からスタートした中期経営計画「ふくぎん本気(マジ)宣言II～ウォーム・マネーの福島銀行～」に則り、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

なかでも、お客様の貴重な時間を節約することを目的に、窓口のお手続きを原則3分で完了する「クイック窓口」や、預金者が亡くなられた時に、葬儀費用や入院費用などの当座の支払いのために預金の払戻しがスムーズにできるサービス「これで安心」を開始いたしました。さらに、東日本大震災以降休業を余儀なくしていた富岡支店を6年ぶりに移転、再開いたしました。新生・富岡支店は、お金に関することだけでなく、新たなステージに向けて前進する地域の皆さまが抱えるお悩み、お困りごとを幅広く解決する「なんでも解決隊」を基本コンセプトにしております。

当行は今後とも、お客様を助け、励まし、勇気づける暖かいお金やサービス「ウォーム・マネー」の提供が当行の最大の使命であると考え、これに邁進して参る所存ですので、なお一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

● 目指す姿

真面目にがんばっている人を 真面目に応援する 真面目な銀行

- ① 福島銀行は、事業を通じて地域社会の発展に貢献します。
- ② 福島銀行は、お客様を助け、励まし、勇気づける暖かいお金やサービスの創造と提供に努めます。
- ③ 福島銀行は、お客様を笑顔でお迎えし、笑顔でお帰りいただける店作りに努めます。
- ④ 福島銀行は、お客様の夢の実現と課題の解決に努めます。
- ⑤ 福島銀行は、お客様のお役に立つため不断の自己研鑽と自己改革に努めます。
- ⑥ 福島銀行は、社会の役に立つ事業活動を通じて健全な利益の増大に努めます。



ウォーム・マネー

WARM の MONEY

福島銀行

● 主要課題

顧客・地域支援力の強化

基本方針

顧客・地域を強力に支援するための
基盤・能力・収益力の強化

人が生き生きと暮らす福島を創る

- 人生のライフステージやライフイベントを強力にサポートする高感度の商品・サービスの提供 (リテール戦略の強化)
- 社会貢献活動の取組み強化

顧客満足度の向上

- かゆい所に手の届く心のこもったサービスの提供
- ストレスの少ない心地よいサービスの提供
 - ▶ 待ち時間の短い窓口の実現
 - ▶ インターネット支店の高度化

優れたサービスをより多くの皆様に享受していただくための顧客数拡大

- 企業融資先数の拡大
 - ▶ 「顧客課題管理表」活用による提案営業の徹底
- 給与振込み先の拡大 ● 年金振込み先の拡大

企業活動が活発に行われる福島を創る

- 創業支援の強化
 - ▶ 創業支援チームの立上げ
- 企業活動活発化に向けた課題解決支援の強化
 - ▶ 地元企業支援チームの立上げ
- 事業の再生支援の強化

高い志を持ち、顧客・地域の要請に応える能力を持った行員の育成

- 人材開発態勢の強化
 - ▶ 若手の早期育成 ▶ 女性幹部育成・登用

収益機会の発掘・拡大と経営管理の高度化による収益力の強化

- ヒト・モノ・カネの有効活用の徹底
 - ▶ 事務の合理化・効率化 ▶ 貸出・有価証券のポートフォリオの見直し
 - ▶ 手数料ビジネスの拡大

● 最終年度(平成29年度)修正目標



当期純利益
12億円



自己資本比率
10%程度



企業融資先数
200先増加
(単年度)



給振+年金
1,500先増加
(単年度)

富岡支店 6年ぶりに再開!

富岡支店は、地域の様々なお悩みを承ります

平成29年3月22日、東日本大震災後、休業しておりました富岡支店が6年ぶりに移転、再開しました。富岡支店は、新たなステージに向けて前進する地域の皆さまが抱える様々なお悩み、お困りごとを解決する「なんでも解決隊」を基本コンセプトに地域に寄り添い、全力でサポートいたします。「電球を交換して欲しい」、「お風呂が壊れた!修理してくれるところはないかしら・・・」などなど、お金以外のお困りごとでもお気軽にご相談ください。

移転場所 福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央232番地

支店長 加藤 勲



平成29年3月22日、オープニングセレモニーの様子

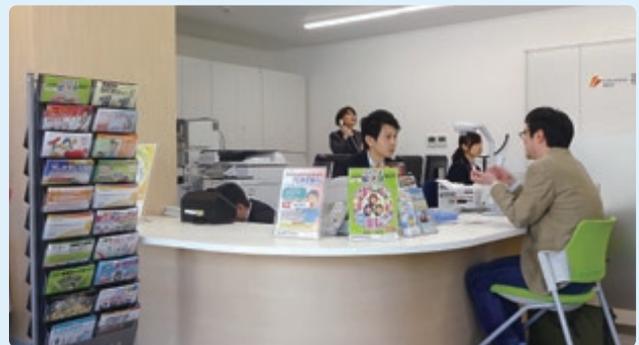


富岡支店は、帰還される住民の皆さまに寄り添いながら、復興という明るい未来づくりにお役に立てるよう頑張っております。

富岡支店長 加藤 勲(中央)



テレビ会議システムを2か所設置しており、お客様が本部の専門部署と直接ご相談いただけます。



店内はローカウンターのみになっており、ゆっくりご相談いただけるレイアウトになっております。

★ なんでも解決隊 ★



タケノコ伐採のお手伝い



花植えのお手伝い



庭木伐採のお手伝い

法人・事業主のお客様への取組み

創業支援に向けた取組み ～起業家を全力でサポート～

(平成29年7月1日現在)

34名が起業の夢を実現!

福島銀行は、新たな企業を創出し、企業活動が活発に行われる福島を創るために、県内の金融機関として一番最初に創業支援事業者として名乗りをあげ、県内13市2町から認定を受けております。

平成26年11月から「創業支援セミナー」や女性向けの「プチ起業カフェ」を県内各地で120回開催し、延べ1,200名を超える創業を目指す方が参加されました。その結果、当セミナーの受講者からこれまでに34名の方が創業しております。



喜多方市 増山様

「Crecer」
子供服・雑貨販売及びフォトスタジオ

創業支援セミナーで、福島銀行に事業計画書作成のアドバイスをしてもらい、お店と一緒に築くことができたと感じています。



福島市 鈴木様

「ペットサービスもごせ」
訪問型ペットシッター

起業の壁に突き当たっていた時にセミナーに参加しました。講師の方や福島銀行の担当の方からのアドバイスで迷いを吹っ切ることができました。



会津若松市 三村様

「@mimu's」
ネットショップ支援サービス・HP作成

創業支援セミナーではとてもよい刺激をいただきました。事業に活かして地元福島に貢献していきます。

「創業者サークル「ふくぎんUCEC」発足!

起業を軌道に乗せるお手伝いを目的に、起業後の人脈づくり、相談相手づくりができる環境を作り、コミュニケーションを密にすることで創業後のお悩みを解決する創業者サークル「ふくぎんUCEC(ユークセック)」を福島と郡山で発足しました。今後、いわきでの発足も予定しております。

※UCEC:Up and Coming Entrepreneurs Club(今、売り出し中の起業家クラブ)

参加者の声

- 様々な業種の方との交流により、自分の事業とコラボレーションできたらいいなあと思える、興味深い話ことができました。(40代女性 コンサルティング業)
- 様々な業種の方とお話してから、思わぬヒントを得ることができました。(40代女性 理美容業)
- 「若い方が頑張っているなあ」と感じ、良い刺激を受けました。(60代女性 飲食業)

「ふくぎんファミリー会」、「若手経営者の会」の開催

お客様相互の交流と当行とお客様との関係強化を目的に各地区で「ふくぎんファミリー会」を開催しております。また、次の世代を担う若手経営者が相互に交流し、企業経営の勉強や情報交換を行なう場として「若手経営者の会」を各地区で開催しております。



地方創生「食の魅力」発見商談会2016

全国に向けた県内企業の販路拡大を目的に、第二地方銀行協会加盟行共同開催の「地方創生『食の魅力』発見商談会2016」にお取引先と共に出展しました。行員自ら県産食品の魅力をバイヤーにPRし、新規取引、販路拡大への支援を行っております。



福島で復活を目指す再チャレンジ起業家を応援

～ 投資第2号に「株式会社ホップジャパン」様 ～

再チャレンジに特化した投資ファンド「福活(ふっかつ)ファンド」を平成27年8月に一般社団法人MAKOTOと設立しました。過去に倒産等の経験があり、福島県内で設立する法人が対象。平成28年7月に第2号案件「株式会社ホップジャパン」様への投資が決定しました。

また、平成29年7月には、新たに3社の投資が決定しました。



動産担保融資(ABL)への取組み

当行は、個人保証等に過度に依存せず、企業が保有する在庫、売掛金などの資産を担保とする融資手法であるABLに積極的に取り組んでおり、円滑な資金供給を図っております。平成28年度におけるABLの実行件数は24件となりました。



法人・事業主のお客様への取組み

ローカルベンチマークへの取組み

ローカルベンチマークは、「経営改善が必要な産業・企業の見極めに資する評価方法」として、企業の経営者等と金融機関が同じ目線で活発な対話を通じて現状や課題を理解し、企業の経営改善に向けた取組みを促すための手段であります。平成28年度中に経済産業省が行った実証実験には、当行を含め全国の6組織が参加し、お客様と同じ目線で対話を積み重ねました。当行は今後も、ローカルベンチマークの手法を活用し、お取引先とのコミュニケーション強化を図ってまいります。

事業性評価に基づくご融資

当行は、動産担保融資(ABL)とローカルベンチマーク対象先への融資の合計を「事業性評価に基づく融資」と定義しております。

今後も、この取組みを推進することにより、「企業活動が活発に行われる福島」を創ってまいります。

●「事業性評価に基づく融資」の推移

	件数	金額
平成27年度	11	20億円
平成28年度	48	80億円

個人のお客様への取組み

相続預金払戻サービス「これで安心」

自分に万が一のことがあった時に

「葬儀費用や入院費用の支払いが不安だなあ」
「残された家族には、迷惑を掛けたくないよ」

と思いませんか？



預金者であるお客様が亡くなられた場合に、その方の葬儀費用や入院費用、介護施設利用料、税金、公共料金など当座の支払いを亡くなられた方の預金からスムーズかつスピーディーに払い戻しができる「相続預金払戻サービス『これで安心』」の取り扱いを平成28年9月から開始しました。

万が一の時に、あらかじめ指定を受けた相続人が、500万円を限度に相続預金を払い戻して、葬儀費用や入院費用などの当座の支払いに充てることができます。



「これで安心」は、生命保険に比べてスピーディかつスムーズに払い出しができます。葬儀費用の支払いもこれで心配ありません。

80代女性(年金受給者)



親の相続時に預金の払い出しができなくなり葬儀費用などの支払いに苦労しました。子供には、同じ苦労をさせたくありません。

70代男性(会社経営者)

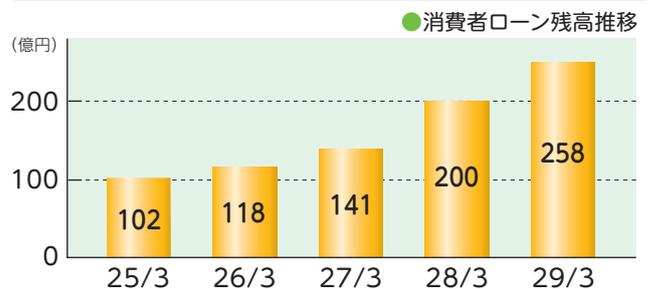
お金の活用セミナー

～質の高い投資情報をご提供～



お客様に質の高い資産運用の情報を提供するために平成28年度中に「お金の活用セミナー」や「休日資産運用セミナー」を併せて201回開催しました。

いつでもどこでも支店



平成26年7月に開設したインターネット専用支店「いつでもどこでも支店」は、パソコンやスマートフォンなどで24時間、ローンのお申し込みや投資信託などがお取引いただけます。当支店では、資金使途を明確にした目的別ローンを中核に販売が拡大しており、消費者ローンの残高増加に大きく寄与しております。

その他の取組み

● 銀行の窓口は、『長時間待たされるのが当たり前』だと思っていないですか？

クイック窓口 速さをご体感ください！



原則

3分で完了！

銀行の窓口は、長時間待たされるのが当たり前だと思っていないですか？ お客様の貴重な時間を節約することを目的に、ほとんどの事務手続きを原則3分で完了する「お客様をお待たせしない窓口」のサービスを平成28年4月から全店で展開しております。

なお、お通帳の新規作成や大量のお振込など、3分以上お待たせする場合は、予めお待ちいただく時間をお知らせいたします。



その他の取組み

ソリューションプラザ(SP)ふくぎんお金の交差点



お客様の利便性向上を目的に、福島・郡山のローンプラザの休日営業を土曜・日曜に拡大しました(これまでは土曜日のみ)。併せて、これまでの住宅ローンを中心とした業務に加え、「資産運用や事業に関するご相談」を追加し、お金に関するあらゆるご相談が可能になりました。

えるぼしマーク取得



女性活躍推進法に基づく女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が高く評価され、認定マーク「えるぼし」<2段階目>を取得しました。当行は今後も、男女の区別なく一人ひとりがいきいきと働き、能力が発揮できる会社を目指してまいります。

社会貢献への積極的貢献①

「ふくぎん10大イベント」開催回数100回達成!
延べ参加人数は20,000名突破!

平成26年夏からスタートした「ふくぎん10大イベント」の開催回数が100回を達成し、延べ参加人数も20,000名を突破しました。当イベントは、社会貢献の一環として様々な企画を通じて県内の交流人口の拡大を図り、福島を明るく元気にするを目的に、春夏秋冬、季節ごとに10回のイベントを開催しております。地域の隠れた資源をテーマに取り上げ、地元の方でも気付かなかった新たな価値を再発見するなど好評をいただいております。

さらに、10大イベントへの取り組みが評価され、「ふくしま産業賞(特別賞)」を受賞しました(平成29年2月)。 ※P.17参照

(平成29年7月1日現在)

ふくぎん 数字で見る
10大イベント

- 開催総数 **115回** ●延べ参加人数 **20,492名**
- 地方公共団体や民間企業との連携総数 **72件**
- 総移動距離数 **15,919km** ●お客様満足度 **96.5%**
(平成28年度:お客様アンケートによる「感動した」と「満足した」の割合)



「福島わらじまつり」では168名の一般の方を同じ隊列にお誘いして踊り流し、「大わらじ賞」を受賞しました。



ワカサギ釣り体験



万世大路の見学



蒔絵の体験



安洞院文知摺観音の見学



いつも新発見のある「ふくぎん10大イベント」は、好奇心のキープと体力アップに効果大です! 友達が増えることも楽しみの一つです。
(福島市 60代女性)



「ふくぎん10大イベント」は、普段、何気なく通り過ぎていた所にとんでもないお宝が発見できます。「何これ!?!」の連発で見聞も広がり、ひと味違う体験を楽しんでいます。
(福島市 60代男性)



「ふくぎん10大イベント」を通じて、知らない所が見学でき、とても勉強になっています。一人で参加しても、食事の際に一緒にテーブルの方と話が出来たり、とても楽しんでおります。
(いわき市 70代女性)

「行員ボランティア」に1,521名が参加

地域社会の一員として、自ら汗を流して地域社会に溶け込んだ貢献を行うため、平成27年7月から役員も含めた全役職員がボランティア活動に参加する取組みをスタートさせました。清掃活動や地域イベントのお手伝い、猪苗代湖の水草回収、植樹祭のお手伝いなど幅広く参加し、平成28年度中の参加人員は延べ1,521名となりました。



ふくぎんエコ定期「みんなの尾瀬」



年度末残高の0.01%相当額を(公財)尾瀬保護財団に寄付を行ない尾瀬の自然環境を守る定期預金、ふくぎんエコ定期「みんなの尾瀬」の取り扱いをしております(平成24年11月～)。平成29年3月末残高は1,018億円となり、平成29年4月に1,018万円の寄付を行ないました。当商品による寄付は、5回目となり寄付金額は累計で3,900万円を超えました。皆様からのご協力ありがとうございました。

このほか、県内4か所での募金活動(写真左)や尾瀬ごみ持ち帰り啓蒙活動(写真右)も行いました。

集団献血

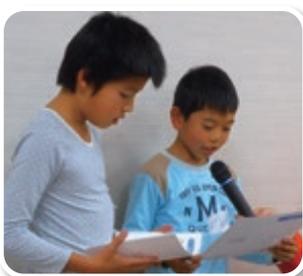
本部で集団献血を年3回実施し、延べ64人が参加しました。



社会貢献への積極的貢献②

こども向けワークショップ(平成24年度～)

こども向けワークショップでは、創造体験や共同作業、作品の発表を通じて、こども達が自分に合った表現方法を見つけ、コミュニケーションの輪を広げることを学びます。平成28年度は、県内4か所で開催、76名のこども達が参加し、小さなコンピューター「クリケット」と約200種類の素材を用い、みんなのアイデアを組み合わせることで動くおもちゃを制作しました。グループでアイデアを出し合いながら共同制作、発表する過程を大切に開催しております。



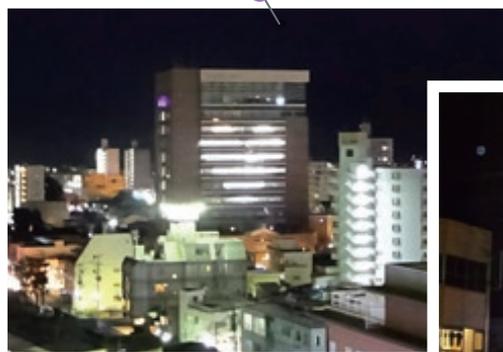
地域文化事業への協賛 (福島銀行オールドストーリーズ)

㈱テレビユー福島様に協賛し、語り部が福島の民話を地元の言葉で語る「福島銀行オールドストーリーズ」を県内4か所で開催しました。また、「福島の昔話や方言」を次の世代に伝えるために、その模様を収録したDVDを県内の全小学校に寄贈しました。



THANK YOU 大きなハートをプレゼント THANK YOU

バレンタインデーに本社ビル西側の窓ガラスを利用し、大きなハートのイルミネーションを照らしました(平成29年2月)。



各種活動への助成金の贈呈

公益信託福島銀行 ふるさと自然環境基金(平成4年度～)

福島県における自然環境保護を図り、自然と人間の調和の取れた社会づくりを目的に、25回目の助成金を贈呈しました。これまでの助成先は62先、助成額は累計1,436万円に達しました。

泉崎村



鰻坂池の池底汚泥除去の様子

環境ワーキンググループ伊達



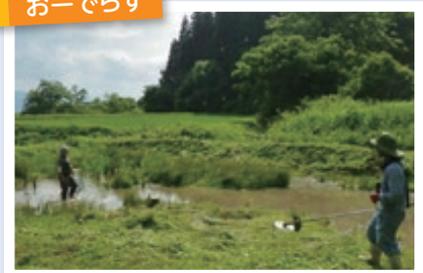
伊達市を流れる河川の水質や生物の調査の様子

猪苗代湖の自然を守る会



猪苗代湖のヒシ除去作業の様子

おーでらす



トウホクサンショウウオの産卵地・生育環境保全活動の様子

ふくぎん みんなのサポート市民活動助成金(平成24年度～)

当行の90周年記念事業として創設しました。福島県内で高齢者を守る活動、子どもの教育を支える活動など、未来づくりに自発的に取り組む活動を支援・促進し、あたたかい地域社会の実現を目指しております。今回で5回目、助成先は18先、助成額は累計で180万円になりました。

市民後見サポートの会



成年後見制度普及啓発開催の様子

kokoyori



土曜日に一人になりがちなお子様たちへ、居場所と一緒に食事をする時間を提供

子どもたちのいのちを守る会・ふくしま



昔ながらの遊びや暮らしの知恵を親子で体験している様子

ふるさとの川 荒川づくり協議会



子どもたちの学習資料として、荒川資料室に図鑑を設置

福島南子ども劇場



子どもたちの創造力や想像力を育むための人形劇鑑賞会開催の様子

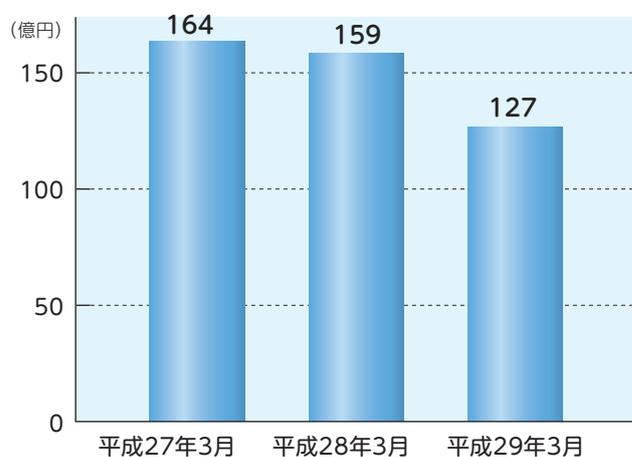
決算ハイライト(単体)①

(1) 損益

① 経常収益

127億円

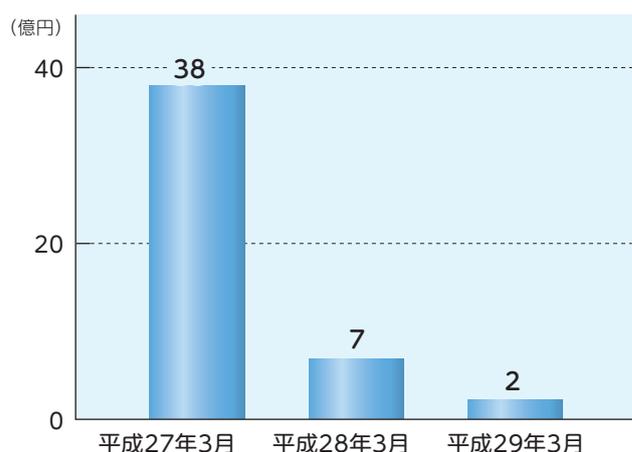
貸出金利息や有価証券利息配当金、株式等売却益、国債等債券売却益の減少などから前年度比▲32億円の減収となりました。



② 業務純益

2億円

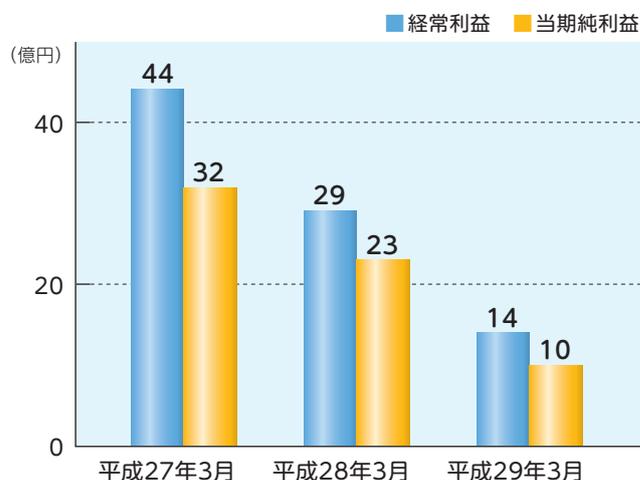
国債等債券償還損の減少や営業経費の圧縮により業務費用が減少したものの、貸出金利息や有価証券利息配当金、株式等売却益などの減少による業務収益の減少幅が大きかったことから前年度比▲4億円の減益となりました。



③ 経常利益・当期純利益

14億円・10億円

経常利益は、前年度比▲15億円の減益。当期純利益は、同▲12億円の減益となりました。



(2) 営業

① 預金+預かり資産

7,995億円

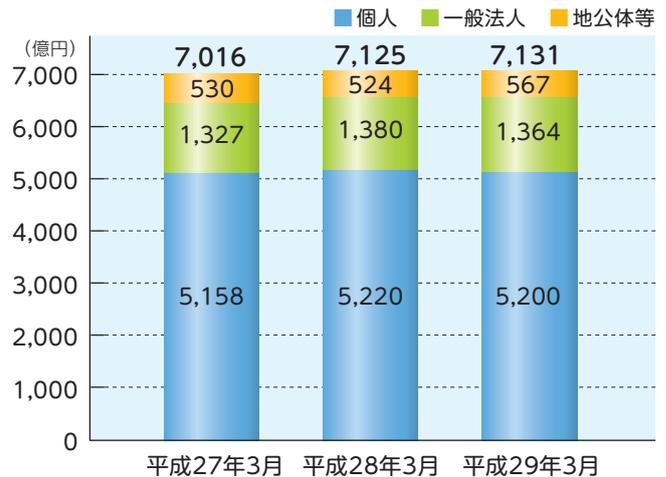
預金と預かり資産を合計した残高は、前年度比▲28億円(同▲0.3%)の減少になりました。



② 預金 (譲渡性預金を含む)

7,131億円

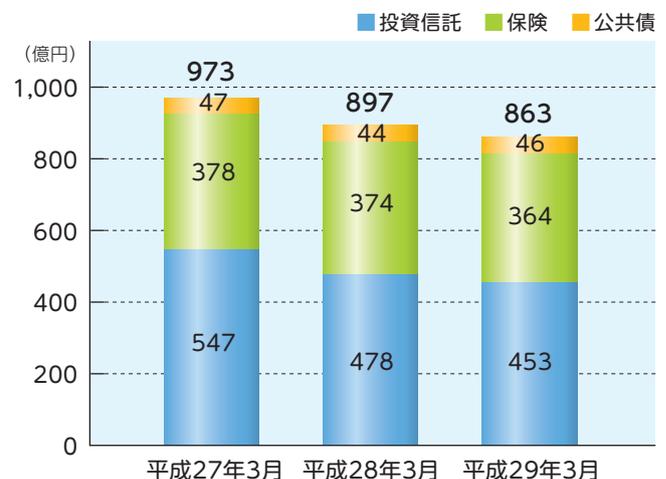
預金残高は、地公体預金の増加により前年度比6億円(同+0.08%)増加しました。



③ 預かり資産

863億円

預かり資産は、投資信託や保険の販売が低調だったことや、投資信託の基準価格が低下したことを主因に前年度比▲34億円(同▲3.8%)減少しました。



決算ハイライト(単体)②

④貸出

5,050億円

貸出残高は、地公体向け貸出や消費性貸出が伸びたことから前年度比86億円(同+1.7%)増加しました。



⑤有価証券

1,558億円

有価証券の残高は、国内債券の満期償還を主因に前年度比▲63億円(同▲3.8%)減少しました。



(3)財務

①自己資本比率

10.82%

自己資本は、利益の積み上げにより前年度比4億円増加し、341億円となりました。このため、自己資本比率も10.82%に上昇(同+0.47%ポイント)しました。



②金融再生法開示債権比率

1.68%

- 金融再生法開示債権は、倒産が低水準だったことや、企業の業況改善により借入金の返済が進んだことなどから、前年度比▲20億円減少しました。
- 金融再生法開示債権比率は、1.68%に低下し、過去最低を更新しました。



(4) 平成29年度決算予想

平成29年度(平成30年3月期)は、単体で当期純利益12億円を予想しております。

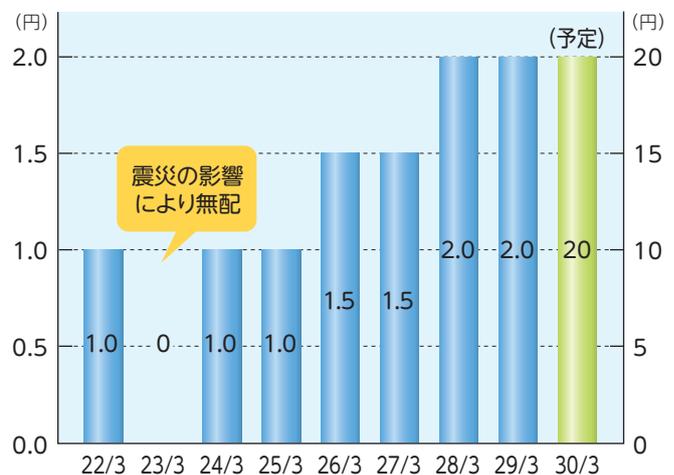
		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度予想
単体	経常収益	159	127	116
	経常利益	29	14	15
	当期純利益	23	10	12
連結	経常収益	179	144	135
	経常利益	33	16	17
	当期純利益	26	12	13

決算ハイライト(単体)②

1株当たりの配当金

平成29年度配当は、1株当たり20円00銭を予定しております(平成29年10月1日、株式併合)。

※株式併合により、発行株式総数は10分の1に減少しますが、純資産等は変動しないため、1株当たりの純資産額は10倍になります。よって、お客様の所有株数に変動がなければ、株式併合後も配当金の受取金額総額に変更はございません。



※右軸は、株式併合後。

営業店一覧 (平成29年7月1日現在)

[ATM稼働] 土・日・祝日稼働○、平日のみ稼働■

(49店舗・5出張所・2ソリューションプラザ・1ローンプラザ)

店名	所在地	電話番号	店名	所在地	電話番号
◎ ほんてん 本店営業部	〒960-8625 福島市万世町2-5	(024) 525-2911	◎ まかがわ 須賀川支店	〒962-0013 須賀川市岡東町187	(0248) 75-2158
◎ わたり 渡利出張所	〒960-8141 福島市渡利字沖町100-3	(024) 523-3341	◎ やぶき 矢吹支店	〒969-0213 西白河郡矢吹町本町10-2	(0248) 42-3911
◎ やましたちよう 山下町出張所	〒960-8115 福島市山下町2-34	(024) 531-5311	◎ しらかわ 白河支店	〒961-0856 白河市新白河1-169	(0248) 24-1311
◎ いづみ 泉出張所	〒960-8253 福島市泉字道下16-17	(024) 559-1231	◎ ぶねひき 船引支店	〒963-4312 田村市船引町船引字原田100-1	(0247) 82-1151
◎ ぶくしまにし 福島西支店	〒960-8053 福島市三河南町20-7	(024) 534-7158	◎ いしかわ 石川支店	〒963-7859 石川郡石川町字南町66-1	(0247) 26-2127
◎ ぶくしまきた 福島北支店	〒960-0102 福島市鎌田字樋口5-6	(024) 553-5561	◎ たなぐら 棚倉支店	〒963-6131 東白川郡棚倉町大字棚倉字古町97-1	(0247) 33-2211
◎ ぶくしまみなみ 福島南支店	〒960-8162 福島市南町181	(024) 545-3111	◎ やまつり 矢祭支店	〒963-5118 東白川郡矢祭町大字東館字石田10-2	(0247) 46-3141
◎ ほうらい 蓬萊出張所	〒960-8157 福島市蓬萊町2-1-5	(024) 548-6331	◎ あいづ 会津支店	〒965-0042 会津若松市大町1-6-22	(0242) 26-6311
◎ ささや 笹谷支店	〒960-0241 福島市笹谷字中谷前1-12	(024) 558-1135	◎ ちんでん 門田支店	〒965-0832 会津若松市天神町25-37	(0242) 28-5131
◎ おかべ 岡部支店	〒960-8204 福島市岡部字高畑3-1	(024) 531-8081	◎ いなわしろ 猪苗代支店	〒969-3122 耶麻郡猪苗代町字尻尻346-5	(0242) 62-2054
◎ おおもり 大森支店	〒960-1101 福島市大森字高畑25-2	(024) 546-5911	◎ きたかた 喜多方支店	〒966-0015 喜多方市関柴町上高嶺字境田649-3	(0241) 22-2163
◎ やしまだ 八島田支店	〒960-8056 福島市八島田字畑添1-2	(024) 558-6001	◎ そうま 相馬支店	〒976-0042 相馬市中村字大町71	(0244) 35-2161
◎ いいざか 飯坂支店	〒960-0201 福島市飯坂町字若葉町6	(024) 542-3251	◎ ほんまち 原町支店	〒975-0004 南相馬市原町区旭町1-16	(0244) 23-2158
◎ ほばら 保原支店	〒960-0616 伊達市保原町字6丁目14	(024) 575-3101	◎ なみえ 浪江支店※	〒979-1521 双葉郡浪江町大字権現堂字新町75	—
◎ こおり 桑折支店	〒969-1661 伊達郡桑折町大字上郡字仲丸4-10	(024) 582-2207	◎ とみおか 富岡支店	〒979-1111 双葉郡富岡町大字小浜字中央232	(0240) 22-2161
◎ かわまた 川俣支店	〒960-1453 伊達郡川俣町字瓦町67	(024) 565-2211	◎ よつぐら 四倉支店	〒979-0201 いわき市四倉町字東2-89-1	(0246) 32-4151
◎ にほんまつ 二本松支店	〒964-8691 二本松市若宮2-198-1	(0243) 22-2151	◎ たいら 平支店	〒970-8691 いわき市平字南町23-1	(0246) 23-3331
◎ ほんみや 本宮支店	〒969-1133 本宮市本宮字中條24	(0243) 34-3161	◎ たいらひがし 平東出張所	〒970-8026 いわき市平字作町2-8-3	(0246) 21-5411
◎ こおりやま 郡山営業部	〒963-8022 郡山市西ノ内2-12-11	(024) 932-1500	◎ うちごう 内郷支店	〒973-8403 いわき市内郷織町榎下47-2	(0246) 26-2061
◎ ほが 芳賀支店	〒963-8813 郡山市芳賀3-3-9	(024) 956-0188	◎ ゆもと 湯本支店	〒972-8321 いわき市常磐湯本町天王崎1-5	(0246) 42-2138
◎ おおつき 大槻支店	〒963-0203 郡山市静町18-22	(024) 951-8500	◎ おなほま 小名浜支店	〒971-8162 いわき市小名浜花畑町12-6	(0246) 53-4101
◎ かいせい 開成支店	〒963-8034 郡山市島1-11-13	(024) 921-0301	◎ うまだ 植田支店	〒974-8691 いわき市植田町中央1-5-9	(0246) 62-2151
◎ ぶくやま 富久山支店	〒963-8071 郡山市富久山町久保田字久保田70-1	(024) 934-1620	◎ せんだい 仙台支店	〒980-8691 仙台市青葉区国分町3-4-33 (仙台定禅寺ビル4階・ATM1階)	(022) 223-8191
◎ さいこん 菜根支店	〒963-8862 郡山市菜根1-26-6	(024) 923-4500	◎ くりそ 黒磯支店	〒325-0056 那須塩原市本町8-2	(0287) 62-1625
◎ あさか 安積支店	〒963-0107 郡山市安積3-72-1	(024) 945-5530	■ みと 水戸支店	〒310-0015 水戸市宮町2-4-32	(029) 224-5606
◎ あらい 荒井支店	〒963-0111 郡山市安積町荒井字南大郎42-5	(024) 946-1850	◎ おおみや 大宮支店	〒330-0802 さいたま市大宮区宮町2-81 (いちご大宮ビル4階)	(048) 643-2830
◎ とみた 富田支店	〒963-8041 郡山市富田町上ノ内2-2	(024) 952-3922			

※臨時窓口(福島市の本店内)の電話番号
浪江支店 (024) 525-2946

とうきょう
東京事務所 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-6-2 (菱華ビル7階) (03) 3272-3701

ソリューションプラザ(SP)・ローンプラザ(LP)

店名	所在地	電話番号
ぶくぎんお金の交差点SP福島	福島市万世町2-5	(024) 525-2945
ぶくぎんお金の交差点SP郡山	郡山市西ノ内2-12-11	(024) 932-3380
LPいわき	いわき市平字南町23-1	(0246) 37-8816

いつでもどこでも支店(インターネット専用支店)

所在地	電話番号
〒960-8625 福島市万世町2-5	(0120) 07-2940

TOPICS



ふくしま産業賞(特別賞)を受賞!



社員と一般参加者が一緒に踊っている福島銀行のわらじおどりチーム

体験型催しで地域貢献



森川 英治 社長

平成二十六年夏から春夏秋冬の季節ごとに「ふくしま十大イベント」を開いている。福島を再発見するツアーや好奇心をくすぐる体験型の催しを企画し、地域の元気づけりに取り組んでいる。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に伴い県内の観光客が大きく減少した。県内に営業基盤を置く銀行として地域貢献を目的に事業を始めた。全社員からアイデアや情報を集め、地域貢献の社員を中心に手作りのイベントを展開している。

福島市で八月に開かれる「わらじおどり」への参加が人気企画となっている。昨夏、一般住民、学生、障害者ら約百七十人が社員と一緒に踊り流し、一体となって福島の夏の風物詩を楽しんだ。

イベントは今冬で百回目を迎え、これまでの参加者は一万五千人を超えた。森川英治社長は「多くのアイデアが集まり、参加者に喜ばれる内容になってきた」と話す。企画に磨きをかけ、さらなる地域活性化につなげていく。

地域の隠れた資源を掘り起こし、様々なイベント企画を通じて福島県内の交流人口の拡大に努めたことが評価され、「ふくしま産業賞(特別賞)」を受賞しました(平成29年2月・写真は表彰式)。



本店12階大展望ラウンジに 社会科見学



当行本店12階、地上60メートルの大展望ラウンジからは、福島市内を一望することができます。福島市内の小学校が、社会科の授業の一環で大展望ラウンジを訪れ、福島盆地や、福島市内の東西南北に何があるのかを学ばれました。

多発する詐欺被害を防止するために

大切な預金をお守りするために 70歳以上のATM振込を 一時停止しております。

全国的に多発している還付金詐欺や振り込み詐欺被害を未然に防止することを目的に、過去3年間、当行のキャッシュカードでATM振込のご利用がない70歳以上のお客様のATM振込を一時停止させていただいております。お客様にはご不便をおかけしますが、大切な預金をお守りするための対策ですので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



 **福島銀行**

経営企画部

福島県福島市万世町2番5号 TEL.024-525-2525(代)
<http://www.fukushimabank.co.jp>